

総会により採択された決議

[第三委員会の報告書 (A/64/432) に基づく]

**64/134. 国際ユース年としての 2010 年宣言  
: 対話および相互理解**

国連総会は、

国際連合憲章とその原則を念頭に置き、

平和という理想、人権と基本的自由の尊重、進歩および開発の目標に対する連帯感と献身を、青少年の中に普及させる必要があることを考慮し、

1965 年 12 月 7 日の総会決議 2037 (X X) において総会により公表された、平和という理想、相互尊重および人々の間での理解の青少年間の促進に関する宣言の規定を想起し、

総会が 2000 年およびその先の青少年のための世界行動計画並びにその補遺<sup>1</sup>を採択した、1995 年 12 月 14 日の総会決議 50/81 および 2007 年 12 月 18 日の総会決議 62/126 もまた想起し、

若者の課題と潜在力が向けられているやり方が、現在の社会的および経済的条件並びに将来の世代の福祉と生活に影響するであろうことを念頭において、

2010 年が「1985 年の国際ユース年：参加、開発、平和」の 25 周年を表していることを念頭に置いて、およびこの記念する年を祝う重要性を強調して、

若者は、そのエネルギー、情熱および独創性を、経済的、社会的および文化的開発と相互理解の促進に当てることを奨励されるべきであることを確信し、

ミレニアム開発目標の文脈における青少年と開発の問題に焦点を絞っている、2010 年 7 月 31 日から 8 月 13 日まで、2010 年欧州文化首都であるトルコのイスタンブールで開催されることになっている第 5 回世界ユース議会、および 2010 年 8 月 24 日から 27 日までメキシコシティで世界ユース会議を主催するメキシコ政府の発案、並びに世界中の若い人々にオリンピックの価値の長所、親睦および尊敬を受け入れ、体現し且つ表現することを吹き込む目的の、2010 年 8 月 14 日から 26 日にシンガポールで開催されることになっているユースオリンピックゲームの開始を歓迎し、

1. 2010 年 8 月 12 日に始まる年を、「国際ユース年：対話と相互理解」と宣言することを決定する。

2. 全ての加盟国、国際連合システムの専門機関、基金および計画並びに青少年の組織に対し、当該年の期間中国内的、地域的および国際的水準で実行されることになっている活動内での相乗作用をあてにするために、また、若い人々の中にミレニアム開発目標を含む進歩と開発の目的と目標に対する平和という理想、自由、進歩、連帯感および献身を普及させることを目的としたあらゆるレベルにおける活動を促進するために、その年を利用することを招請する。

3. 国際連合の後援で、当該年の呼び物として世界ユース会議を組織し、また自発的拠出金で資金が提供されることになっている会議の方式を決定することを目的とした、参加制限をしない加盟国との非公式協議を執り行うために、総会議長を招請することを決定する。

4. 加盟国、国際的および、適切な場合には、地域的機関並びに民間部門および市民社会を含む全ての利害関係者に対し、自発的拠出金の手段を含む、当該年に関連する全ての活動を支援することを要請する。

5. 事務総長に対し、本決議の履行に関する報告書を、第 66 回会期の総会に提出することを要請する。

第 65 回本会議  
2009 年 12 月 18 日

#### 注

1 総会決議 47/1 の第 1 項において、社会開発委員会は、以後「青少年に対する世界行動計画」として言及されることになる、2000 年とその先の若者に対する世界行動計画およびその補遺を、指導原則を一つにまとめたものとして再確認した。